



コンフィギュレーションD

- [設定について \(1 ページ\)](#)
- [イベント設定の構成 \(2 ページ\)](#)
- [全般設定の設定：インスタンスの追加 \(3 ページ\)](#)
- [全般設定の設定：インスタンスの編集 \(7 ページ\)](#)
- [電子メールイベント通知の設定 \(10 ページ\)](#)

設定について

Cisco DNA Center プラットフォーム が提供する [Configurations] を使用すると、次のオプションにより、カスタマイズされたネットワーク エクスペリエンスを設定できます。

- [Event Settings] : Cisco DNA Center プラットフォームは、ネットワーク内で発生する特定の Cisco DNA Assurance イベント (またはインシデント) をサポートします。これは、Cisco DNA Center プラットフォームがこれらのイベントを認識できることを意味します。また、設定により、それらのイベントを Cisco DNA Center がレポートするタイプ、カテゴリ、および重大度をカスタマイズできます。この情報を GUI で設定することにより、Cisco DNA Center が ServiceNow などの外部システム (または、多くの場合、ユーザが設定できる 1 つ以上の REST エンドポイント) に送信する情報をカスタマイズすることもできます。
- [General Settings] : 1 つまたは複数のバンドル内の REST および ITSM エンドポイントインスタンスを追加または編集できます。

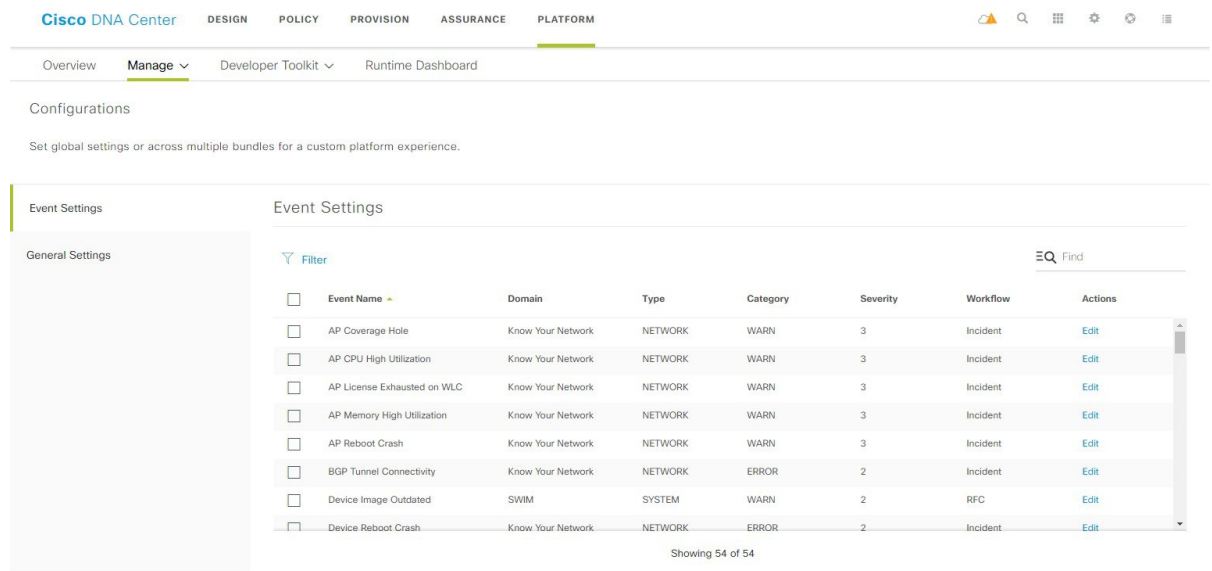


(注) 電子メールイベント通知も設定できるようになりました。電子メールイベント通知の設定は、[Settings] で行います。[System Settings] > [Settings] > [Email configuration] をクリックして、GUI にアクセスし、電子メールイベント通知を設定します。

イベント設定の構成

ネットワーク内で発生する可能性があるプリセット番号の問題（またはイベント）が、[Configurations] ウィンドウの [Event Settings] にあります。これらのイベントのタイプ、カテゴリ、重大度、およびワークフローを設定できます。

図 1: [Event Settings] ウィンドウ



始める前に

- Cisco DNA Center リリース GA 1.3.3.0 へのインストールまたはアップグレードが完了していることを確認します。最新の Cisco DNA Center リリースのインストールについての詳細は、『Cisco Digital Network Architecture Center Installation Guide』を参照してください。
- [Bundles] でネットワークのバンドルを有効化、設定、アクティベートします。[Bundles] の詳細については、[バンドル機能](#)を参照してください。

ステップ 1 Cisco DNA Center ホーム ページで、[Platform] ヘッダーの下の [Configure DNA to Third Party Integration] をクリックするか、またはページ上部の [Platform] > [Manage] > [Configurations] > [Event Settings] の順にクリックします。

ステップ 2 表示される [Event Settings] テーブルを確認します。

次の [Event Settings] 情報が表示されます。

- [Event Name] : Cisco DNA Center イベントの名前。
- [Domain] : Cisco DNA Center イベントのドメイン。

- [Type]：イベントのネットワーク、アプリケーション、システム、セキュリティ、または統合のタイプ。
- [Category]：エラー、警告、情報、アラート、タスクの進捗状況、タスクの完了。
- [Severity]：1 ～ 5。
 (注) 重大度 1 が最も優先順位が高く、最も重要または重大なイベントに割り当てます。
- [Workflow]：インシデント、問題、イベント、または RFC。
- [Actions]：編集。

[Filter] アイコンをクリックしてフィルタを使用するか、[Find] フィールドにキーワードを入力することで、テーブルに表示される内容を調整することができます。たとえば、すべてのアクセスポイントの通知を表示するには、[Find] フィールドに「AP」と入力します。すべてのネットワーク通知を表示するには、[Find] フィールドに「Network」と入力します。重大度 1 のすべての通知を表示するには、[Find] フィールドに「1」と入力します。

その通知をネットワークの標準の表記法に合わせてカスタマイズするように、イベントを編集できます。

ステップ 3 [Actions] カラムの [Edit] をクリックして、イベントを編集します。

下向き矢印をクリックして設定を選択し、値を調整します。たとえば、[Network] をクリックして、[App] に調整します。これにより、イベントタイプはネットワークタイプからアプリケーションタイプに変更されます。[Severity] をクリックし、「5」から「1」に調整します。これにより、重大度レベルが 5 から 1 に上がります。

ステップ 4 イベント名の横にあるボックスをクリックして、通知を有効にします。

これにより、将来イベントが発生した場合、Cisco DNA Center により通知が有効になります。

ステップ 5 [Save] をクリックして設定を保存します。

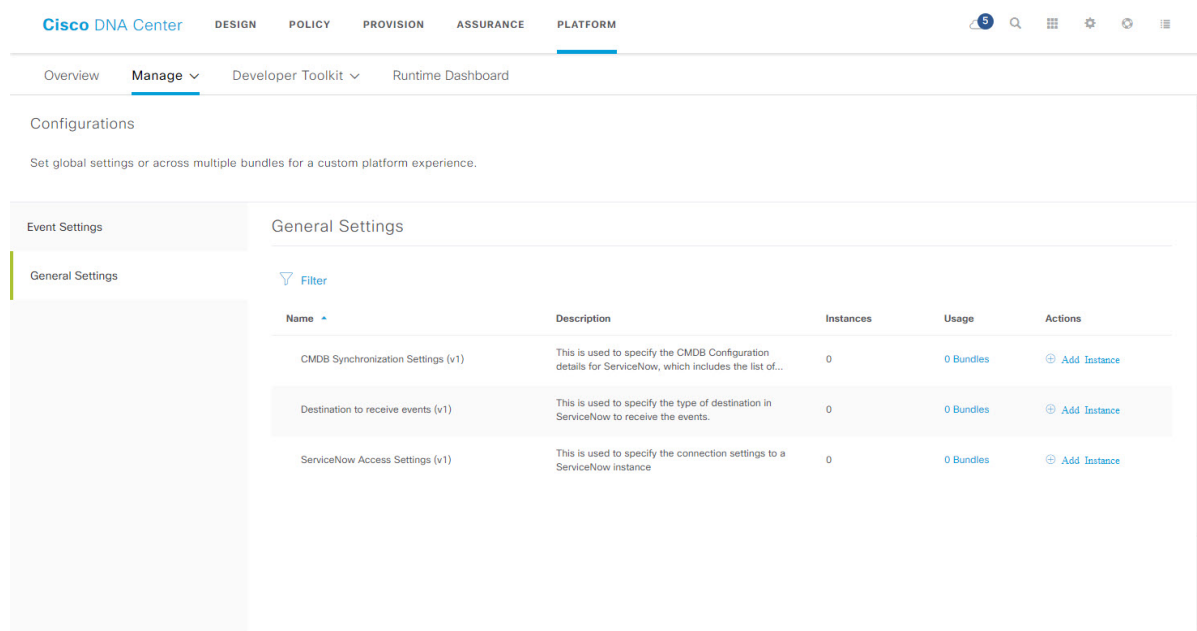
次のタスク

- Cisco DNA Center のホームページで、[Platform] > [Runtime Dashboard] をクリックします。
 [Events Summary] フィールドにイベントの通知が表示されます。
- [View Details] をクリックして通知を表示します。

全般設定の設定：インスタンスの追加

[Configurations] を使用して、1 つまたは複数のバンドル内にインスタンスを追加できます。

図 2: Cisco DNA Center プラットフォーム [Configurations] ウィンドウ



始める前に

- Cisco DNA Center リリース GA 1.3.3.0 へのインストールまたはアップグレードが完了していることを確認します。最新の Cisco DNA Center リリースのインストールについての詳細は、『Cisco Digital Network Architecture Center Installation Guide』を参照してください。
- [Bundles] でネットワークのバンドルを有効化、設定、アクティベートします。[Bundles] の詳細については、[バンドル機能](#)を参照してください。

ステップ 1 Cisco DNA Center のホームページで、[Platform] > [Manage] > [Configurations] > [General Settings] の順にクリックします。

ステップ 2 表示される [General Settings] テーブルを確認します。

次の [General Settings] 情報が表示されます。

- [Name]：インスタンスの名前とバージョン。
- [Description]：インスタンスに含まれる設定の説明。
- [Instances]：設定のインスタンスの数。
- [Usage]：1 つまたは複数のインスタンスが使用されるバンドルの数。
- [Actions]：設定で実行可能な特定のタスク（設定のためのインスタンスの編集または追加など）。

[Filter] アイコンをクリックしてフィルタを使用するか、[Find] フィールドにキーワードを入力することで、テーブルに表示される内容を調整することができます。

ステップ3 表示されたいずれかのインスタンスの矢印をクリックします。たとえば、[CMDB Synchronization Settings (v1)]、[ServiceNow Access Setting (v1)]、または[Destination to Receive Events (v1)]の矢印をクリックします。設定のインスタンスの一覧が表示されます。

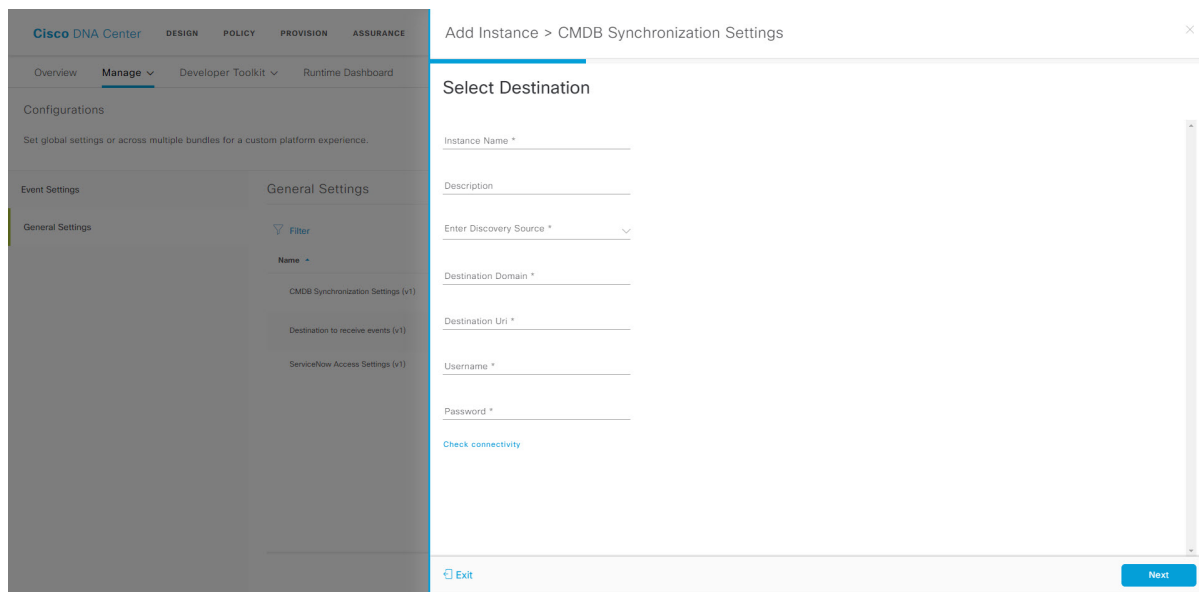
ステップ4 [Usage] 列で、[Bundles] の上にマウス ポインタを重ねます。
Cisco DNA Center には、指定されたインスタンスを使用するバンドルが表示されます。

ステップ5 インスタンスを追加するには、[Actions] 列の [Add Instances] リンクをクリックします。
以降の手順で、要件に合わせて適切なインスタンスを追加します。

ステップ6 (オプション) [CMDB Synchronization Settings] インスタンスを追加するには、[Actions] 列で [Add Instance] をクリックし、表示される slide-in pane で次のインスタンスフィールドに入力します。

- [Select Destination] : インスタンス名、説明、検索ソース、宛先ドメイン、宛先 URL、ユーザ名、およびパスワードを入力します。[Next] をクリックする前に、[Check connectivity] をクリックして ServiceNow またはその他の宛先サーバへの接続を確認してください。
- [Select Inventory Data Fields] : 同期するインベントリ データ フィールドを選択し、データフィールドが属性であるか参照であるかを選択します。
- [Update Transforms] : デバイスファミリに対して CI クラスを承認または更新します。
- [Set Source Identifier and Operational Limit] : 検索ソースと上限を設定します。

図 3: [CMDB Synchronization Settings] インスタンス



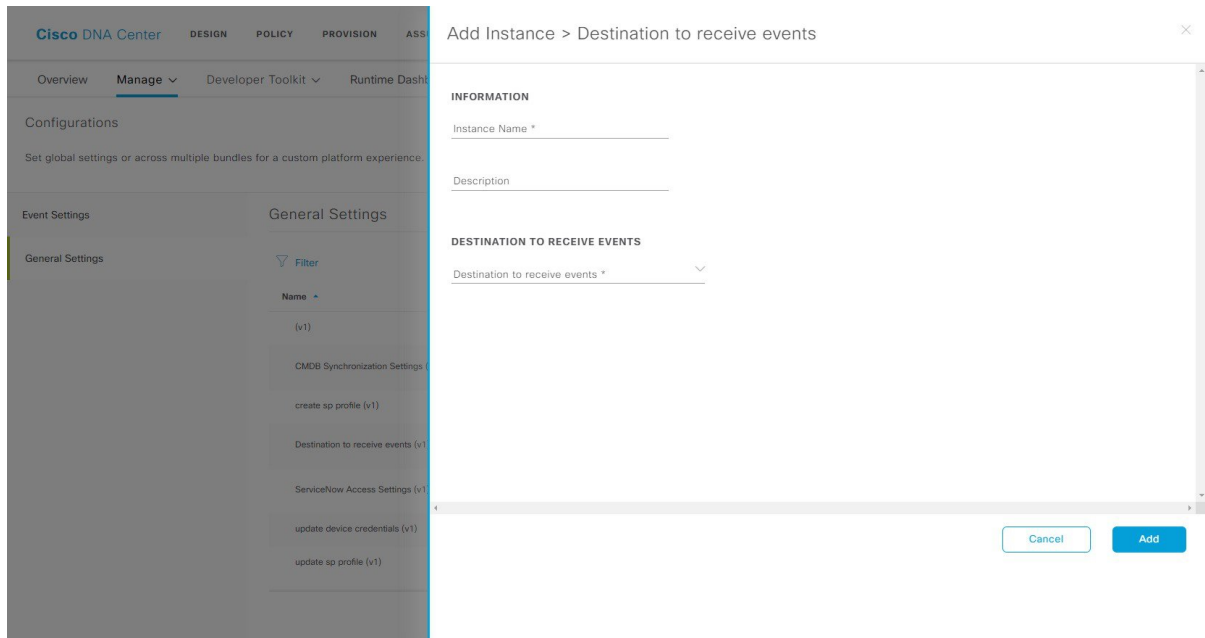
ステップ7 (オプション) [Destination to receive events] インスタンスを追加するには、[Actions] 列で [Add Instance] をクリックし、slide-in pane で次のインスタンスフィールドに入力します。

- [Instance Name] : インスタンスの名前。

- [Description]：インスタンスの説明。
- [Destination to Receive Events]：[Event Management] または [REST API Endpoint] を選択します。

[Event Management] は、ServiceNow で提供されるイベント管理プラグインを使用する場合に選択するオプションです。Cisco DNA Center と ServiceNow の統合の詳細については、このリリースの『Cisco DNA Center ITSM Integration Guide』を参照してください。

図 4：[Destination to receive event] インスタンス

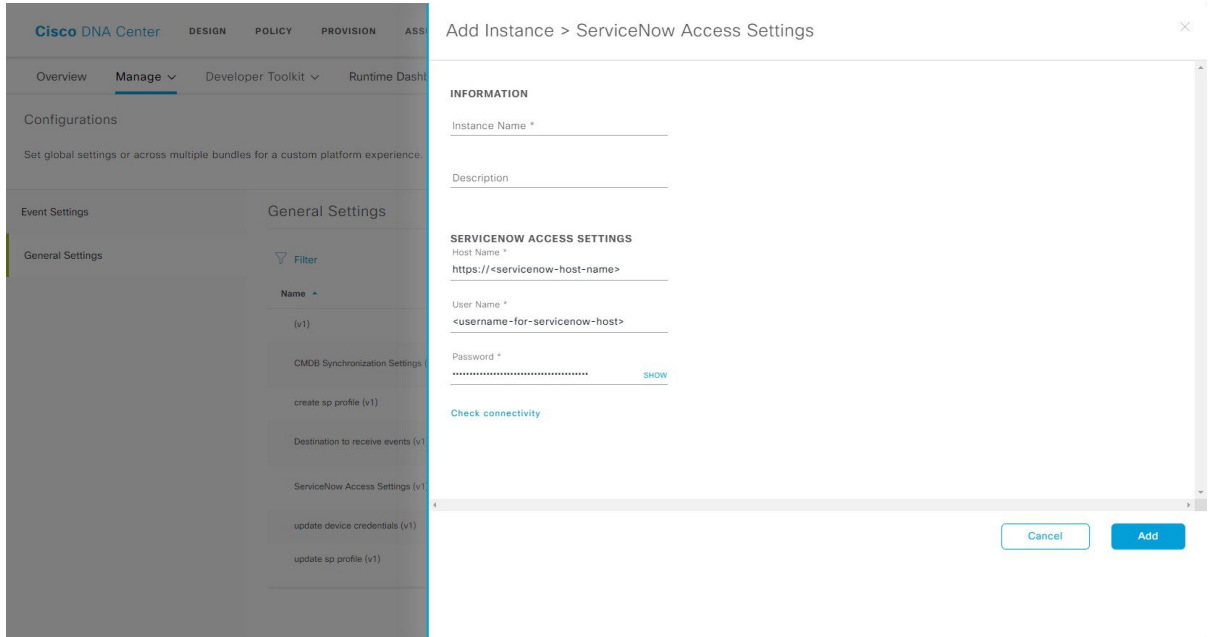


ステップ 8 (オプション) [ServiceNow Access Settings] インスタンスを追加するには、[Actions] 列で [Add Instance] をクリックし、slide-in paneで次のインスタンスフィールドに入力します。

- [Instance Name]：インスタンスの名前。
- [Description]：インスタンスの説明。
- [Host name (ServiceNow)]：ServiceNow のホスト名。
- [Username]：ServiceNow のアクセスに使用するユーザ名。
- [Password]：ServiceNow のアクセスに使用するパスワード。

[Add] をクリックする前に、[Check connectivity] をクリックして ServiceNow またはその他の宛先サーバへの接続を確認してください。

図 5: [ServiceNow Access Settings] インスタンス

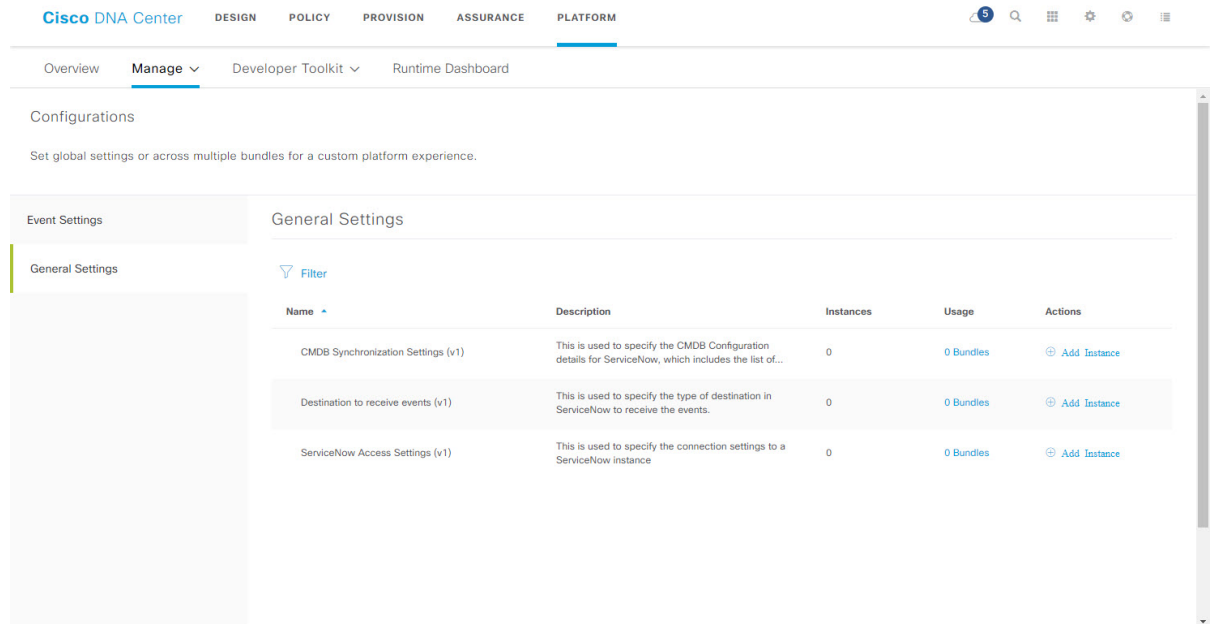


ステップ9 [Add] をクリックしてインスタンスの追加を保存します。
 インスタンスへの追加は即座に実行されます。

全般設定の設定：インスタンスの編集

[Configurations] を使用して、1 つまたは複数のバンドル内のインスタンスを編集できます。

図 6: Cisco DNA Center プラットフォーム [Configurations] ウィンドウ



始める前に

- Cisco DNA Center リリース GA 1.3.3.0 へのインストールまたはアップグレードが完了していることを確認します。最新の Cisco DNA Center リリースのインストールについての詳細は、『Cisco Digital Network Architecture Center Installation Guide』を参照してください。
- [Bundles] でネットワークのバンドルを有効化、設定、アクティベートします。[Bundles] の詳細については、[バンドル機能](#)を参照してください。

ステップ 1 Cisco DNA Center のホームページで、[Platform] > [Manage] > [Configurations] > [General Settings] の順にクリックします。

ステップ 2 表示される [General Settings] テーブルを確認します。

次の [General Settings] 情報が表示されます。

- [Name] : インスタンスの名前とバージョン。
- [Description] : インスタンスに含まれる設定の説明。
- [Instances] : 現在設定されているインスタンスの数。
- [Usage] : 1 つまたは複数のインスタンスが使用されるバンドルの数。
- [Actions] : 設定で実行可能な特定のタスク（設定のためのインスタンスの編集または追加など）。

[Filter] アイコンをクリックしてフィルタを使用するか、[Find] フィールドにキーワードを入力することで、テーブルに表示される内容を調整することができます。

- ステップ3** 表示されたいずれかのインスタンスの矢印をクリックします。たとえば、[CMDB Synchronization Settings (v1)]、[ServiceNow Access Setting (v1)]、または[Destination to Receive Events (v1)]の矢印をクリックします。設定のインスタンスの一覧が表示されます。
- ステップ4** [Usage] 列で、[Bundles]の上にマウスポインタを重ねます。
Cisco DNA Centerには、指定されたインスタンスを使用するバンドルが表示されます。
- ステップ5** [Actions]カラムの[Edit]アイコン（「パッドとペン」アイコン）をクリックし、既存のインスタンスを編集します。
以降の手順で、要件に合わせて適切なインスタンスを編集します。
- ステップ6** （オプション）[CMDB Synchronization Settings]インスタンスのCMDBの同期の詳細を編集するには、[Edit] > [Actions]の順にクリックし、表示されるslide-in paneで次のインスタンスフィールドを編集します。
- [Select Destination]：インスタンス名、説明、検索ソース、宛先ドメイン、宛先URL、ユーザ名、およびパスワードを入力します。[Next]をクリックする前に、[Check connectivity]をクリックしてServiceNowまたはその他の宛先サーバへの接続を確認してください。
 - [Select Inventory Data Fields]：同期するインベントリデータフィールドを選択し、データフィールドが属性であるか参照であるかを選択します。
 - [Update Transforms]：デバイスファミリーに対してCIクラスを承認または更新します。
 - [Set Source Identifier and Operational Limit]：検索ソースと上限を設定します。
- ステップ7** （オプション）[Destination to receive events]インスタンスを編集するには、[Edit] > [Actions]の順にクリックし、slide-in paneで次の1つ以上のインスタンスフィールドを編集します。
- [Instance Name]：インスタンスの名前。
 - [Description]：インスタンスの説明。
 - [Destination to Receive Events]：[Event Management]または[REST API Endpoint]を選択します。
[Event Management]は、ServiceNowで提供されるイベント管理プラグインを使用する場合に選択するオプションです。Cisco DNA CenterとServiceNowの統合の詳細については、このリリースの『Cisco DNA Center ITSM Integration Guide』を参照してください。
- ステップ8** （オプション）[ServiceNow Access Settings]インスタンスを編集するには、[Edit] > [Actions]の順にクリックし、slide-in paneで次のインスタンスフィールドを編集します。
- [Instance Name]：インスタンスの名前。
 - [Description]：インスタンスの説明。
 - [Host name (ServiceNow)]：ServiceNowのホスト名。
 - [Username]：ServiceNowのアクセスに使用するユーザ名。
 - [Password]：ServiceNowのアクセスに使用するパスワード。

[Update] をクリックする前に、[Check connectivity] をクリックして ServiceNow またはその他の宛先サーバへの接続を確認してください。

ステップ 9 [Update] をクリックして編集したものをインスタンスに保存します。

インスタンスへの編集は即座に実行されます。

電子メールイベント通知の設定

Cisco DNA Center このリリースでは電子メールイベント通知をサポートしています。ユーザが GUI で電子メールサブスクリプションに選択したイベントに基づいて、電子メール通知が自動的に送信されます。1日に最大 1000 通の電子メールを送信できます。

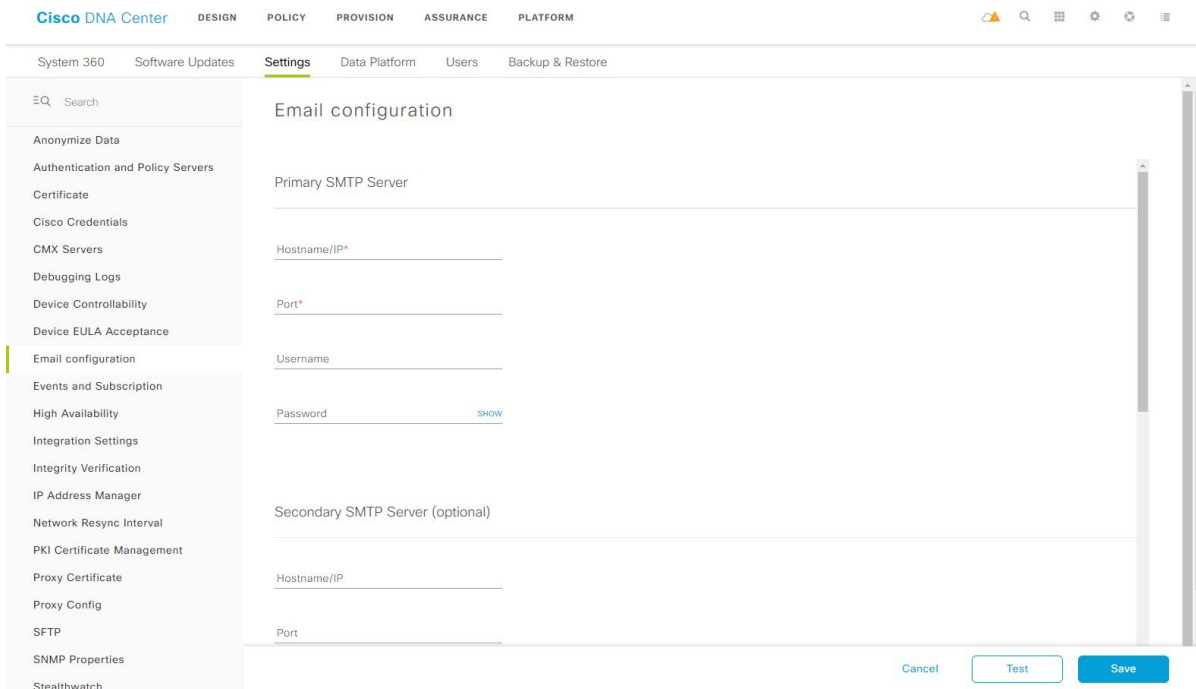
メールには標準の電子メールテンプレートが使用されます。このテンプレートには、件名とメッセージの両方のセクションが含まれています。メッセージには、イベントに関する詳細が表示されます。



(注) 電子メールは、Cisco DNA Center から SMTP プロトコルを使用して送信されます。また、Cisco DNA Center は、電子メールイベント通知用のクリアテキスト SMTP のみをサポートしています。SSL/TLS のサポートを必要とする電子メールサーバを使用している場合は、電子メールイベント通知を受信できません。

Cisco DNA Center GUI を使用して電子メールイベント通知を設定するには、次の手順を実行します。

図 7: [Email Configuration] ウィンドウ



始める前に

Cisco DNA Center リリース GA 1.3.3.0 へのインストールまたはアップグレードが完了していることを確認します。最新の Cisco DNA Center リリースのインストールについての詳細は、『Cisco Digital Network Architecture Center Installation Guide』を参照してください。



重要 電子メールに正しい Cisco DNA Center ハイパーリンクを含めるには、[Integration Settings] ウィンドウで Cisco DNA Center の IP アドレスまたはホスト名を入力します。GUI を使用してこの情報を入力するには、[System Settings] > [Settings] > [Integration Settings] の順にクリックします。

ステップ 1 Cisco DNA Center ホームページで [System settings] > [Settings] > [Email configuration] をクリックします。
[Email configuration] 画面が開きます。

ステップ 2 [SMTP Server Configuration] フィールドを設定します。オプションには、次のものが含まれます。

- [Primary SMTP Server (Required)] :
 - [Hostname/IP address] : プライマリ SMTP サーバのホスト名または IP アドレス。
 - [Port number] : サーバのポート番号
 - [Username] : サーバのアクセスに必要なユーザ名。

- [Password] : サーバのアクセスに必要なパスワード。
- [Confirm Password] : サーバにアクセスするためのパスワードを再入力します。
- [セカンダリSMTPサーバ (Secondary SMTP Server)] (任意) :]
 - [Hostname/IP address] : セカンダリ SMTP サーバのホスト名または IP アドレス。
 - [Port number] : サーバのポート番号
 - [Username] : サーバのアクセスに必要なユーザ名。
 - [Password] : サーバのアクセスに必要なパスワード。
 - [Confirm Password] : サーバにアクセスするためのパスワードを再入力します。
- [Senders and Receivers] :
 - [From] : 電子メールの送信者。
 - [To] : 電子メールの受信者。
 - [Subject] :
 - 電子メールイベント通知の件名行のテキスト (最大 200 文字) を入力します。

ステップ 3 [Test Email] をクリックすると、電子メール設定をテストできます。

[Test Email] ボタンをクリックすると、設定されたパラメータを使用してテスト電子メールが送信されます (プライマリおよびセカンダリの両方の SMTP サーバの設定について、「DNA Center SMTP configuration test e-mail」という件名で送信されます)。テスト電子メールの接続の結果に応じて、成功または失敗のメッセージが表示されます。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックして、設定を保存します。

設定をキャンセルするには、[Cancel] をクリックします。

次のタスク

イベントの登録は、Cisco DNA Center プラットフォーム GUI の [Events Settings] ウィンドウで行います。この手順の詳細については、[イベントの使用](#)を参照してください。